

# 魚のひれ

# 水族館へ行こう!

## 京都大学白浜水族館



△  
胸びれを上手にを使って  
水中で止まるハリセン  
ボン(水槽番号411-3)

魚が水中を泳ぐのに使っている「ひれ」。それぞれの使い方や、生きた力を水に伝える。一番うかが。いろいろな種類の魚で比べてみると、これが案外面白い。一番多く見られるのは、尾び

れを使って泳ぐ方法だ。この泳ぎ方では、体全体をくねらせて

大きな力を出せる方法であり、海の表層や中層を泳ぐ回遊魚のマグロやアジの仲間などは常にこの泳ぎ方をしている。

一方、岩礁など

## 加藤 哲哉

に縄張りを持っているような魚たちは、敵に襲われたりした時には尾びれで逃げるけれど、日ごろは別の泳ぎ方をしているものがたくさんいる。

細い体のペラの仲間は胸びれを羽ばたかせるようにして泳ぐ。曲がる時には細い体を曲げてかじを取っている。ハタンポの仲間は曲がる時の方法が少し違っていて面白い。彼らは体も使っているが、片方の胸びれだけを動かすことでかじ取りをする。

胸びれを左右交互に動かす魚もいる。スマメタイやチョウチヨウオオの仲間が分かりやすい。ゆっくりと泳いだり、同じ場所に止まっていたりするときには、胸びれを左右交互に動かす。少し速く泳ぐときは左右同時に動かすようだ。さらに全速力の時には尾びれで泳ぐ。泳ぐ

速さによって使い分けているのである。

独特な泳ぎ方なのはフクヤカワハギの仲間。彼らは胸びれのほかに背びれと尻びれを左右に振ったり、波打たせたりして泳いでいる。とくにカワハギの仲間の泳ぎ方は巧みだ。ひれを波打たせる動きを逆転させて前進も後退も思いのまま。同じところに止まっていることもできる。カワハギの仲間が釣りの餌取りとして有名なもの、同じところに止まったまま餌を引っ張らずに食べられるからだ。

このほかにも、魚の種類によって、また状況によって、いろいろなひれの使い方を行っている。今度、水族館に来ることがあればそんなところも注意してみると意外な面白さを見つけられる。

(京都大学技術職員)

# 使い方さまざま